

第 1 部

調査概要

1. 調査目的

脳卒中に罹患した患者の発生地域、件数及びその後の移動状況を調査することにより、千葉県における脳卒中罹患患者の動向を把握すること。同時に、脳血管障害リハビリテーションと同様なリハビリテーションを必要とする頭部外傷患者についての把握も行う。

2. 対象患者

脳卒中(疑い含む)及び脳障害のリハビリテーションを必要とする頭部外傷患者

3. 調査対象期間

平成 21 年 9 月の 1 ヶ月間

4. 調査方法

各医療機関へ「医療機関等調査票・集計表(資料 1)」「入院時調査票(資料 2)」「退院時調査票(資料 3)」の自記入式の 3 種類の調査票を郵送にて配付及び回収。

5. 調査対象医療機関

千葉県内の脳卒中对応医療機関、亜急性期病床を持つ病院、回復期リハビリテーション対応医療機関、脳血管リハビリテーションⅠ～Ⅲおよび運動器リハビリテーションⅠ～Ⅱを届け出ている医療機関、計 211 施設。

6. 回答期限

平成 21 年 10 月 19 日

7. 調査結果

本県における今後の脳卒中リハビリテーションの仕組みづくりのための基礎資料とする。

医療機関等調査票・集計表

提出枚数

入院用 枚
退院用 枚
計 枚

1. 医療機関名			貴院で該当するものに○をつけて下さい。
2. 所在地			脳血管Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
連絡先			運動器Ⅰ・Ⅱ
3. 担当者名			回復期Ⅰ・Ⅱ 亜急性期Ⅰ
4. 診療科目及び医師数〔標準する診療科を○で囲んで下さい。〕 ※医師数は、常勤換算で記入願います。	1 脳神経外科 名		
	2 整形外科 名		
	3 外科 名		
	4 神経内科 名		
	5 内科 名		
	6 リハビリテーション科 名		
5. 病床数 〔届け出ている病床数を記入して下さい。〕	1 一般病床 床		
	2 療養病床 床		
	3 亜急性期病床 床		
	4 ICU・SCU・救命救急算定病床 床		
	5 回復期リハビリテーション病床 床		
	6 その他〔 床 〕		
	7 計 床		
6. スタッフ数 〔リハビリテーションに関わるスタッフ数を常勤換算で記入願います。〕	1. 理学療法士(PT) 名		
	2. 作業療法士(OT) 名		
	3. 言語聴覚士(ST) 名		
	計 名		
7. リハの件数 〔9月に扱ったリハの人数を入院・外来別に記入してください。〕	1 脳血管疾患等リハビリテーション 入院数 名、外来数 名		
	2 運動器リハビリテーション 入院数 名、外来数 名		
	3 心大血管疾患リハビリテーション 入院数 名、外来数 名		
	4 呼吸器リハビリテーション 入院数 名、外来数 名		
	計 名、計 名		
8. 入院患者の疾患別人数 〔9月中に入院している脳卒中患者における人数を記入して下さい。〕	1 脳梗塞 名	左のうち回復期リハ病床に入院している患者の人数を記入して下さい。	1 脳梗塞 名
	2 脳出血 名		2 脳出血 名
	3 くも膜下出血 名		3 くも膜下出血 名
	4 頭部外傷 名		4 頭部外傷 名
	5 その他〔 名 〕		5 その他〔 名 〕
	計 名		計 名
備考			

脳卒中患者(含 頭部外傷)動向調査票 (退院時)

資料 3

1. 施設名		整理番号	B-
2. 診断(疑い含む)	1 脳梗塞 2 脳出血 3 くも膜下出血 4 頭部外傷 5 その他		
3. 発症月日	年 月 日		
4. 入院月日	年 月 日		
5. 退院月日	月 日		
6. 性別	1 男 2 女		
7. 年齢(退院時)	1 10歳未満 2 10代 3 20代 4 30代 5 40代 6 50代 7 60~64歳 8 65歳~69歳 9 70~74歳 10 75~79歳 11 80代 12 90歳以上		
8. 患者の現住所	1 千葉県内 () 市・町・村 2 千葉県外() 都・道・府・県() 区・市・町・村		
9. 退院時病床	1 ICU・SCU・救命救急算定病床 2 一般病床 3 亜急性期病床 4 回復期リハビリテーション病床 5 療養病床 6 その他 ()		
10. 転退院先種別	1 回復期リハビリテーション病棟(病院) 2 療養型病床群 3 1, 2以外の病院 4 在宅 5 有床診療所 6 介護老人保健施設 7 特別養護老人ホーム 8 1~7以外の施設 9 死亡		
本来、望まれる転院先種別が他にある場合には、その種別を上記の番号で記載ください。 ()			
11. 転退院先の名称			
12. 退院先の住所	1 千葉県内 () 市・町・村 2 千葉県外() 都・道・府・県() 区・市・町・村		
13. mRS modified Rankin Scale	Grade 0 :全く症状なし Grade 1 :症状はあるが特に問題となる障害なし (通常の日常生活及び活動は可能) Grade 2 :軽度の障害 (以前の活動はできないが、介助なしに自分のことができる) Grade 3 :中等度の障害 (何らかの介助を必要とするが、介助なしに歩行可能) Grade 4 :比較的高度の障害 (介助なしに歩行や日常生活を行うことが困難) Grade 5 :高度の障害 (寝たきり、失禁、常に看護や注意が必要) Grade 6 :死亡 不明		
14. 退院時併存障害	1 意識障害 2 人工呼吸器 3 気管切開 4 酸素吸入 5 IVH 6 経鼻栄養 7 胃ろう 8 バルーン留置 9 人工肛門 10 人工透析 11 褥瘡 12 認知症 13 危険行動を伴う高次脳機能障害 14 精神疾患 15 悪性疾患 16 特になし 17 不明		